

地域の歴史②「中世」

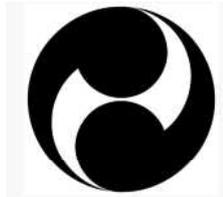
原始・古代の項でもふれましたが、この福良小学校がある地域は江戸時代の前期まで、下総国に属していました。鎌倉時代から室町時代にかけての、いわゆる中世には、結城氏が支配していたものと思われます。田川・江川、鬼怒川などを隔て、一族の小山氏、長沼氏なども割拠していたものと思われます。

特に高椅神社は、結城氏の厚い崇敬を受けており、多くの古文書が残されています。

中世の主要道路としては、鎌倉と地方を結ぶ、いわゆる鎌倉道が知られていますが、結城市から南側のルートはある程度はっきりしているようですが、北側のルートについては定かではありません。古い地図を見ると、結城から福良小学校区の西側の台地上を通り、薬師寺、多功を通り宇都宮に至る街道（江戸時代の日光東往還、現在の県道結城石橋線）と、結城から福良小学校区の南東側を通り鬼怒川を渡り、長沼方面に通じる街道（現在の県道結城二宮線）の2本の道路があり、いずれも中世武士団の本拠地を結んでいることから、鎌倉道の可能性もあるかもしれません。



結城氏（右三つ巴）



小山氏（二つ頭左巴）



長沼氏（左三つ巴）